

平成25年12月 紙・板紙需給速報

問い合わせ先：紙・板紙部（03-3248-4803）

（単位：千トン、％）

		生産		出荷計		国内出荷		輸出		在庫	(参考)輸入*	
			前年比		前年比		前年比		前年比			前年比
12月	紙・板紙計	2,213	104.9	2,256	102.6	2,176	101.2	80	164.3	1,820	160	95.0
	紙計	1,284	106.4	1,280	99.9	1,219	98.2	61	154.4	1,261	133	94.1
	新聞用紙	284	98.7	278	96.9	278	96.9		—	246	4	78.2
	印刷・情報用紙	710	109.8	711	101.4	666	98.8	46	164.2	756	125	94.8
	非塗工紙	175	108.2	173	99.8	166	98.9	7	124.7	259	13	102.0
	塗工紙	421	109.6	422	101.1	388	97.3	34	180.4	363	76	101.2
	情報用紙	114	113.2	116	104.9	112	104.0	4	138.5	135	36	81.6
	包装用紙	72	109.5	71	104.2	60	101.2	11	125.0	105	1	79.2
	衛生用紙	150	101.1	154	93.7	154	93.7			65	1	102.8
	板紙計	929	102.9	975	106.4	957	105.4	18	209.1	558	27	100.0
	段ボール原紙	741	102.7	788	107.2	771	105.9	17	245.3	344	7	66.4
白板紙	120	100.6	119	101.9	118	102.2	2	81.2	133	19	120.5	
(参考)累計	紙・板紙計	26,245	101.1	26,409	102.3	25,478	101.2	931	143.3	1,820	1,708	81.7
	紙計	15,185	100.8	15,299	102.3	14,558	101.2	741	130.7	1,261	1,363	78.9
	新聞用紙	3,219	98.9	3,208	98.3	3,206	98.3	2	107.1	246	48	98.1
	印刷・情報用紙	8,578	101.9	8,706	104.8	8,146	103.5	560	127.8	756	1,277	77.8
	非塗工紙	2,190	100.4	2,223	102.4	2,134	102.2	89	107.6	259	155	73.3
	塗工紙	5,065	104.0	5,141	107.3	4,706	105.4	435	133.4	363	628	67.1
	情報用紙	1,323	96.8	1,343	99.7	1,306	99.2	37	122.9	135	494	100.3
	包装用紙	880	101.0	881	102.7	750	98.6	131	134.9	105	10	75.4
	衛生用紙	1,748	98.9	1,743	98.5	1,743	98.5			65	10	169.8
	板紙計	11,060	101.6	11,110	102.3	10,920	101.3	190	229.6	558	345	95.1
	段ボール原紙	8,806	101.9	8,856	102.8	8,690	101.5	166	283.2	344	87	73.8
白板紙	1,449	98.6	1,451	99.2	1,426	99.1	24	101.9	133	246	107.0	

〔概況12月〕

紙・板紙の国内出荷は前年同月比1.2%増、6ヶ月連続の増加。うち、紙は1.8%減、6ヶ月ぶりの減少。板紙は5.4%増、6ヶ月連続の増加。主要品種は新聞用紙、印刷用紙(非塗工、塗工)、衛生用紙を除き増加。

紙・板紙の輸出は前年同月比64.3%増、16ヶ月連続の増加。うち、紙は54.4%増、東アジア、東南アジア、大洋州向けを中心に16ヶ月連続の増加。板紙は2.1倍増、東南アジア向けを中心に14ヶ月連続の増加。

紙・板紙の在庫は前月比43千トン減、4ヶ月連続の減少。うち、紙は4千トン増、3ヶ月ぶりの増加。品種間でバラツキも新聞用紙の増加等が影響。他方、板紙は46千トン減、段ボール原紙を中心に3ヶ月連続の減少。

〔主要品種〕

印刷・情報用紙の国内出荷は前年同月比1.2%減、6ヶ月ぶりの減少。荷動きは年末商戦向けのチラシ需要等も全般的には盛り上がり感は今一つ。一部輸入の増加等も影響。他方、輸出は64.2%増、塗工紙を中心に12ヶ月連続の増加。

包装用紙の国内出荷は前年同月比1.2%増、未ざらしを中心に4ヶ月連続の増加。輸出は引き続き高水準をキープ。

衛生用紙の国内出荷は前年同月比6.3%減、4ヶ月連続の減少。引き続き製品輸入の増加等もありティッシュを中心に減少。

段ボール原紙の国内出荷は前年同月比5.9%増、6ヶ月連続の増加。荷動きは堅調も価格修正や消費増税関連、年末年始9連休を控えた前倒し等が影響。白板紙の国内出荷は2.2%増、コート白を中心に2ヶ月連続の増加。一部消費増税関連も、年末年始9連休を控えた前倒し等が影響。

(注)1. 国内工場の生産高・出荷高・在庫高による。

2. 紙・板紙計には「その他の紙」、「白板紙以外の紙器用板紙」、「その他の板紙」が含まれる。

3. 輸入*は11月、1-11月

平成 25 年 12 月 パルプ 速報

問合わせ先：原材料部 (03-3248-4805~6)

(単位：千トン、%)

(11月)

品 種	生 産		自家用		販 売		在 庫		輸 入	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
N-BKP	93	92.9	84	103.1	14	127.0	51	91.6	81	99.9
L-BKP	481	112.6	436	113.7	46	92.6	67	68.7	58	175.4
B K P 計	575	108.8	520	111.8	60	98.8	118	77.1	139	121.8
U K P	89	113.6	62	112.9	27	116.9	21	73.1	1	36.6
機械パルプ	61	101.8	61	102.1	—	—	2	89.1	15	65.8
製紙パルプ計	728	109.1	645	110.9	89	105.2	144	77.1	160	107.9

1~12月累計

(1~11月)

N-BKP	1,145	100.9	999	103.2	151	101.1	—	—	850	103.7
L-BKP	5,905	102.4	5,329	103.5	606	102.8	—	—	494	90.5
B K P 計	7,050	102.1	6,328	103.4	757	102.4	—	—	1,344	98.4
U K P	1,026	100.3	751	99.4	283	105.8	—	—	20	80.8
機械パルプ	666	96.7	666	96.7	—	—	—	—	143	84.0
製紙パルプ計	8,774	101.5	7,767	102.4	1,049	103.7	—	—	1,561	96.1

※製紙パルプ計には、上記品種以外を含む。

12月の概況

- 製紙パルプの生産は9.1%増、自家用は10.9%増で、紙・板紙生産の伸び率4.9%を共に上回る数値となっている。品種別には、BKPは印刷情報用紙の生産が9.8%増となったこともあり、8.8%増で5か月連続のプラスとなった。UKPは、主たる需要先である段ボール原紙が2.7%増、未ざらし包装紙が19.8%増と生産が共にプラスとなったこともあり、13.6%増で4か月連続のプラスとなった。在庫については、BKPは9か月連続、UKPは10か月連続で前年比減となっている。
- 販売は、BKPでは輸出は2か月ぶりにプラスとなったが、国内販売が芳しくないことから、7か月連続のマイナスとなった。UKPは2か月ぶりにプラスとなった。輸出が中国からの引き合い多く7か月連続で前年比増であることに加え、国内販売も増税前の駆け込み需要により段ボール原紙向けが好調なことから、5か月ぶりに前年比増となったことが主な要因。

平成 25 年 12 月 度 パル プ 材 速 報

問合わせ先：原材料部(03-3248-4805~6)

(単位：千トン、%)

材 種	消 費 量		集 荷 量						在 庫 量	
		前年比	計	前年比	国産材	前年比	輸入材	前年比		前年比
針 葉 樹	431	101.8	455	136.0	304	111.1	151	247.5	485	87.4
広 葉 樹	898	114.5	893	118.2	115	96.1	778	122.3	1,057	81.9
計	1,329	110.1	1,348	123.7	419	106.6	929	133.3	1,542	83.6

1~12月累計

針 葉 樹	5,051	100.9	4,975	99.8	3,619	104.1	1,356	90.1
広 葉 樹	10,917	103.1	10,697	99.3	1,444	101.7	9,253	98.9
計	15,968	102.4	15,672	99.4	5,063	103.4	10,609	97.7

12月の概況

- 消費は、パルプ生産の前年比プラスを受け5ヶ月連続でプラスとなった。数量では前月に対して4.1万トンの増加となった。
- 集荷合計は前年比23.7%増と4ヶ月連続のプラスとなった。ただし、2ヶタ増となっているのは昨年同月が極端に低レベルだった事が影響している。従って数量では前月より1.5万トン減少しており、今年の平均値を若干上回る程度となった。輸入材では、前年比で前記の状況が顕著に出ているが、広葉樹では前月に対して減少となっている。国産材は、合計で前年比6.6%増、針葉樹で11.1%増と共に10ヶ月連続のプラスとなった。広葉樹では2ヶ月ぶりにマイナスとなったが前月に対しては増加している。国産材は針葉樹、広葉樹共に円安によるコスト的に優位な状況の中、特に針葉樹では住宅着工数の好調による製材残材チップの供給増が大きく寄与し、積極的な集荷が続いている。
- 在庫合計は、前年比16.4%減と11ヶ月連続のマイナスとなった(直近5ヶ月は2ヶタ減)。前月に対しては消費増、集荷減であったが、前月に続いて集荷が消費を上回っており、数量にして1.8万トンの増加となった。維持月数は前月と変わらず1.1ヶ月となった。